

授業概要

2022.04.01 改定

CREDO 介護福祉学院

【通信課程】

科目	人間の尊厳と自立	形態・時間数	通信・5時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	人間の尊厳の保持等介護の基本的な理念を理解する。		
授業全体の内容の概要	<u>人間の尊厳と自立</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	尊厳の保持、自立の支援、ノーマライゼーション、利用者のプライバシーの保護、権利擁護等介護の基本的な理念を理解している。		
使用テキスト	人間の尊厳と自立・社会の理解Ⅰ・Ⅱ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、70点以上を合格とする。		

授業概要

CREDO 介護福祉学院

【通信課程】

科目	社会の理解Ⅰ	形態・時間数	通信・5時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	介護保険制度等を理解する。		
授業全体の内容の概要	<u>介護保険制度</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	介護保険制度の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。		
使用テキスト	人間の尊厳と自立・社会の理解Ⅰ・Ⅱ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、70点以上を合格とする。		

科目	社会の理解Ⅱ	形態・時間数	通信・30時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	社会と生活のしくみ、地域共生社会の実現に向けた制度や施策、社会保障制度、障害者総合支援法、介護実践に関連する諸制度の概要を理解する。		
授業全体の内容の概要	<u>社会と生活の仕組み、地域共生社会の実現に向けた制度や施策、社会保障制度、障害福祉、介護実践に関連する諸制度</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	・家族、地域、社会との関連から生活と福祉をとらえることができる。 ・地域共生社会の考え方と地域包括ケアのしくみについての基本的な知識を習得している。 ・社会保障制度の発達、体系、財源等についての基本的な知識を習得している。 ・障害者総合支援法の体系、目的、サービスの種類と内容、利用までの流れ、利用者負担、専門職の役割等を理解し、利用者等に助言できる。 ・成年後見制度、生活保護制度、保健医療サービス等、介護実践に関連する制度の概要を理解している。		
使用テキスト	人間の尊厳と自立・社会の理解Ⅰ・Ⅱ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、70点以上を合格とする。		

授業概要

CREDO 介護福祉学院

【通信課程】

科目	介護の基本Ⅰ	形態・時間数	通信・１０時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	介護福祉士の役割と機能や尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解する。また、介護福祉士の倫理についても理解する。		
授業全体の内容の概要	<u>介護福祉士の役割と機能や尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	・介護福祉の法的な定義や義務を踏まえ、介護予防や看取り、災害時等における介護福祉士の役割を理解している。 ・個別ケア、ＩＣＦ（国際生活機能分類）、リハビリテーション等の考え方を踏まえ、尊厳の保持、自立に向けた介護を展開するプロセス等を理解している。 ・介護福祉士の職業倫理、身体拘束禁止・虐待防止に関する法制度等を理解し、倫理を遵守している。		
使用テキスト	介護の基本Ⅰ・Ⅱ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、７０点以上を合格とする。		

科目	介護の基本Ⅱ	形態・時間数	通信・２０時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	・介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、支援の方法等を理解する。 ・介護実践における連携を理解する。 ・介護における安全の確保とリスクマネジメントを理解する。 ・介護従事者の安全について理解する。		
授業全体の内容の概要	<u>介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護従事者の安全</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	・介護を必要とする高齢者や障害者等の生活を理解し、ニーズや支援の課題を把握することができる。 ・チームアプローチに関わる職種や関係機関の役割、連携方法に関する知識を習得している。 ・リスクの分析と事故防止、感染管理等、介護における安全確保に関する知識を習得している。 ・介護従事者の心身の健康管理や労働安全対策に関する知識を習得している。		
使用テキスト	介護の基本Ⅰ・Ⅱ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、７０点以上を合格とする。		

授業概要

CREDO 介護福祉学院

【通信課程】

科目	コミュニケーション技術	形態・時間数	通信・20時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	・ 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーションを理解する。 ・ 介護におけるチームマネジメントとコミュニケーションを理解する。		
授業全体の内容の概要	<u>利用者・家族とのコミュニケーション、利用者の機能に応じたコミュニケーション、介護におけるチームマネジメントとコミュニケーション</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	・ 本人・家族との支援関係を構築し、意思決定を支援することができる。 ・ 利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーションの技法を選択し、活用できる。 ・ チームマネジメント（組織の運営管理、人材管理、リーダーシップ・フォロワーシップ等）に関する知識を理解し、活用できる。 ・ 状況や目的に応じた記録、報告、会議等での情報の共有化ができる。		
使用テキスト	コミュニケーション技術（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、70点以上を合格とする。		

授業概要

CREDO 介護福祉学院

【通信課程】

科目	生活支援技術Ⅰ	形態・時間数	通信・20時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	- 生活支援における I C F について理解する。 - ボディメカニクスを活用した介護の原理を理解する。 - 生活支援技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）を理解する。 - 居住環境の整備、福祉用具の活用等を理解する。		
授業全体の内容の概要	生活支援と I C F、ボディメカニクスによる介護、生活支援技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、衣服着脱、整容、口腔ケア、家事援助等）、環境整備、福祉用具活用等の視点について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	- 生活支援における I C F の意義と枠組みを理解している。 - ボディメカニクスを活用した介護の原理を理解し、実施できる。 - 自立に向けた生活支援技術の基本（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等）を習得している。 - 居住環境の整備、福祉用具の活用等により、利用者の生活環境を整備する視点・留意点を理解している。		
使用テキスト	生活支援技術Ⅰ・Ⅱ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、70点以上を合格とする。		

科目	生活支援技術Ⅱ	形態・時間数	通信・30時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	利用者の心身の状態に合わせた生活支援技術、福祉用具等の活用、環境整備を行うことができるようになる。		
授業全体の内容の概要	<u>利用者の心身の状態に合わせた生活支援技術（環境整備・移動、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔ケア、休息・睡眠、人生の最終段階における介護）、福祉用具等の活用</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	以下について、利用者の心身の状態に合わせた、自立に向けた生活支援技術を理解し、行うことができる。 環境整備、移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、休息・睡眠・人生の最終段階における介護、福祉用具等の活用		
使用テキスト	生活支援技術Ⅰ・Ⅱ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、70点以上を合格とする。		

授業概要

CREDO 介護福祉学院

【通信課程】

科目	介護過程Ⅰ	形態・時間数	通信・20時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	・ 介護過程の目的、意義、展開等を理解する。 ・ 介護過程を踏まえ、目標に沿って計画的に介護を行うことができるようになる。 ・ チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、他の職種の役割を理解する。		
授業全体の内容の概要	<u>介護過程の基礎知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	・ 介護過程の目的、意義、展開等を理解している。 ・ 介護過程を踏まえ、目標に沿って計画的に介護を行う。 ・ チームで介護過程を展開するための情報共有の方法、他の職種の役割を理解している。		
使用テキスト	介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、70点以上を合格とする。		

科目	介護過程Ⅱ	形態・時間数	通信・25時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直しを行うことができる。		
授業全体の内容の概要	<u>介護過程を展開する上での情報収集、アセスメント、介護計画の立案、実施、モニタリング、評価、計画の見直し</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直しを行うことができる。		
使用テキスト	介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、70点以上を合格とする。		

科目	介護過程Ⅲ	担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子
形態	スクーリング	時間数	4 5 時間
授業の目的 ねらい	・ 実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に習得し、活用できる。 ・ 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護（アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等）を提供できる。 ・ 介護計画を踏まえ、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、他職種、他機関との連携を行うことができる。 ・ 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる。		
授業全体の 内容の概要	第 1 章 <u>介護過程の展開の実践</u> 第 2 章 <u>介護技術の評価</u>		
到達目標	・ 実務者研修課程で学んだ知識・技術を確実に習得し、活用できる。 ・ 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じて介護過程を展開し、系統的な介護（アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し等）を提供できる。 ・ 介護計画を踏まえ、安全確保・事故防止、家族との連携・支援、他職種、他機関との連携を行うことができる。 ・ 知識・技術を総合的に活用し、利用者の心身の状況等に応じた介護を行うことができる。		
使用テキスト	介護過程Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	別紙、課程修了の認定方法のとおり。		

授業概要

CREDO 介護福祉学院

【通信課程】

科目	こころとからだのしくみⅠ	形態・時間数	通信・20時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	介護に関係した身体の構造や機能に関する基本的な知識を習得する。		
授業全体の内容の概要	<u>介護に関係した身体の仕組みの基本的な理解（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔等）</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	介護に関係した身体の構造や機能に関する基本的な知識を習得している。		
使用テキスト	こころとからだのしくみⅠ・Ⅱ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、70点以上を合格とする。		

科目	こころとからだのしくみⅡ	形態・時間数	通信・60時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	・ 人間の基本的欲求、学習・記憶等に関する基礎的知識を習得する。 ・ 生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識を習得する。 ・ 身体の仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、観察、アセスメント、関連する職種との連携が行えるようになる。		
授業全体の内容の概要	<u>人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理、認知機能等を踏まえた介護における観察・アセスメントのポイント、連携等の留意点</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	・ 人間の基本的欲求、学習・記憶等に関する基礎的知識を習得している。 ・ 生命の維持・恒常、人体の部位、骨格・関節・筋肉・神経、ボディメカニクス等、人体の構造と機能についての基本的な知識を習得している。 ・ 身体の仕組み、心理・認知機能等についての知識を活用し、観察、アセスメント、関連する職種との連携が行える。		
使用テキスト	こころとからだのしくみⅠ・Ⅱ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、70点以上を合格とする。		

授業概要

CREDO 介護福祉学院

【通信課程】

科目	発達と老化の理解Ⅰ	形態・時間数	通信・10時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	・ 老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解する。 ・ 老化に伴う身体的機能の変化の特徴と日常生活への影響を理解する。		
授業全体の内容の概要	<u>老化に伴う心の変化や老化に伴う身体の変化と日常生活への影響</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	・ 老化に伴う心理的な変化の特徴と日常生活への影響を理解している。 ・ 老化に伴う身体的機能の変化の特徴と日常生活への影響を理解している。		
使用テキスト	発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ、認知症の理解Ⅰ・Ⅱ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、70点以上を合格とする。		

科目	発達と老化の理解Ⅱ	形態・時間数	通信・20時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	・ ライフスタイル各期の発達の定義、発達段階、発達課題について理解する。 ・ 老年期の発達課題、心理的な課題（老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等）と支援の留意点について理解する。 ・ 高齢者に多い症状・疾病等と支援の留意点について理解する。		
授業全体の内容の概要	<u>ライフスタイル各期の発達の定義、段階、高齢期の発達・阻害要因、適応、高齢者に多い症状と疾病、支援の留意点</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	・ ライフスタイル各期の発達の定義、発達段階、発達課題について理解している。 ・ 老年期の発達課題、心理的な課題（老化、役割の変化、障害、喪失、経済的不安、うつ等）と支援の留意点について理解している。 ・ 高齢者に多い症状・疾病等と支援の留意点について理解している。		
使用テキスト	発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ、認知症の理解Ⅰ・Ⅱ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、70点以上を合格とする。		

授業概要

CREDO 介護福祉学院

【通信課程】

科目	認知症の理解Ⅰ	形態・時間数	通信・１０時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	・ 認知症ケアの取組の経過を踏まえ、今日的な認知症ケアの理念を理解する。 ・ 認知症による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解する。 ・ 認知症の人や家族への関わり方・支援の基本を理解する。		
授業全体の内容の概要	<u>認知症ケアの理念、認知症による生活上の障害、行動、心理症状、認知症の人や家族へのかかわり・支援の基本</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	・ 認知症ケアの取組の経過を踏まえ、今日的な認知症ケアの理念を理解している。 ・ 認知症による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。 ・ 認知症の人やその家族に対する関わり方・支援の基本を理解している。		
使用テキスト	発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ、認知症の理解Ⅰ・Ⅱ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、７０点以上を合格とする。		

科目	認知症の理解Ⅱ	形態・時間数	通信・２０時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	・ 代表的な認知症（若年性認知症を含む）の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解する。 ・ 認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、本人主体の理念に基づいた支援ができるようになる。 ・ 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できるようになる。		
授業全体の内容の概要	<u>医学的側面からみた認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	・ 代表的な認知症（若年性認知症を含む）の原因疾患、症状、障害、認知症の進行による変化、検査や治療等についての医学的知識を理解している。 ・ 認知症の人の生活歴、疾患、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、本人主体の理念に基づいた支援ができる。 ・ 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。		
使用テキスト	発達と老化の理解Ⅰ・Ⅱ、認知症の理解Ⅰ・Ⅱ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、７０点以上を合格とする。		

授業概要

CREDO 介護福祉学院

【通信課程】

科目	障害の理解Ⅰ	形態・時間数	通信・10時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	・ 障害の概念の変遷や障害者福祉の歴史を踏まえ、今日的な障害者福祉の理念を理解する。 ・ 障害（身体・知的・精神・発達障害・難病等）による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解する。 ・ 障害のある人やその家族に対する関わり方・支援の基本を理解する。		
授業全体の内容の概要	<u>障害者福祉の理念、障害の特徴と生活上の障害、障害のある人や家族へのかかわり・支援の基本</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	・ 障害の概念の変遷や障害者福祉の歴史を踏まえ、今日的な障害者福祉の理念を理解している。 ・ 障害（身体・知的・精神・発達障害・難病等）による生活上の障害、心理・行動の特徴を理解している。 ・ 障害のある人やその家族に対する関わり方・支援の基本を理解している。		
使用テキスト	障害の理解Ⅰ・Ⅱ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、70点以上を合格とする。		

科目	障害の理解Ⅱ	形態・時間数	通信・20時間
担当者名	今岡 望 ・ 平田 晃之 ・ 服部 布佐子 ・ 星 純子		
授業の目的・ねらい	・ 様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を習得する。 ・ 障害の特性、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができるようになる。 ・ 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できるようになる。		
授業全体の内容の概要	<u>医学的側面からみた障害の理解、障害の特性に応じた支援の実際</u> について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。		
到達目標	・ 様々な障害の種類・原因・特性、障害に伴う機能の変化等についての医学的知識を習得している。 ・ 障害の特性、家族・社会関係、居住環境等についてアセスメントし、その状況に合わせた支援ができる。 ・ 地域におけるサポート体制を理解し、支援に活用できる。		
使用テキスト	障害の理解Ⅰ・Ⅱ（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、70点以上を合格とする。		

授業概要

【通信課程】

CREDO 介護福祉学院

科目	医療的ケア	担当者名	田畑隆代・土井恵子・米丸奈穂
形態	通信	時間数	50 時間
授業の目的・ねらい	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する。		
授業全体の 内容の概要	以下について、テキストを読んで学習し、当該科目の通信添削課題を解く。 <u>①医療的ケア実施の基礎</u> 喀痰吸引や経管栄養、救急蘇生法を安全に実施するため、医療的ケアの基礎を学ぶ。また、感染症等の予防のため、清潔保持の方法や消毒法、滅菌等について理解を深める。さらに、個人の尊厳と自立、利用者やその家族等の気持ちを理解するためのポイントや保健医療に関する制度、チーム医療と介護職員等との連携を理解する。 <u>②喀痰吸引（基礎的知識・実施の手順）</u> 高齢者及び障害児・者の痰吸引についての基礎を学び、実施の手順を理解する。また、実施する上での注意点を理解し、演習でスムーズに実施できるよう理解を深める。 <u>③経管栄養（基礎的知識・実施手順）</u> 高齢者及び障害児・者の経管栄養についての基礎を学び、実施の手順を理解する。また、実施する上での注意点を理解し、演習でスムーズに実施できるよう理解を深める。		
到達目標	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する。		
使用テキスト	医療的ケア 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	レポートによる評価を行い、70 点以上を合格とする。		

科目	医療的ケア・演習	担当者名	田畑隆代・土井恵子・米丸奈穂
形態	スクーリング	時間数	12 時間
授業の目的・ねらい	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する。		
授業全体の 内容の概要	医療的ケアの種類に応じて、下記のとおり実施する。 ア．喀痰吸引 ア) 口腔 5 回以上 イ) 鼻腔 5 回以上 ウ) 気管カニューレ内部 5 回以上 イ．経管栄養 ア) 胃ろう又は腸ろう 5 回以上 イ) 経鼻経管栄養 5 回以上 ウ．救急蘇生法 1 回以上		
到達目標	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する。		
使用テキスト	医療的ケア 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養（長寿社会開発センター）		
認定方法・基準	別紙、課程修了の認定方法のとおり。		